

(3) 行政区

指定地に関連する両市の行政区について概観する。

1) 筑紫野市

指定地はコミュニティ区域[※]では御笠コミュニティに含まれ、活動の拠点施設は御笠コミュニティセンターである。小学校区は吉木小学校区、阿志岐小学校区である。また、御笠コミュニティは16行政区で構成される。指定地は大石区、本道寺区に含まれる。麓にはその他に原、柚須原、香園区があり、各集落は信仰上宝満山とつながりがある。これらの区は山林が多く面積は広いが、人口が少ない。

2) 太宰府市

太宰府市内は44の行政区に分かれており、指定地は内山区、北谷区に含まれる。小学校区は太宰府小学校区である。

筑紫野市と同様、山林を含む行政区であり、面積は広いが、人口は共に市全体の1%に満たない。

表 2-3 行政区の構成

市・行政区	世帯数	人口	構成比	面積	構成比
筑紫野市	45,072 世帯	103,916 人	100.00	87.73 km ²	100.00
御笠コミュニティ	4,103 世帯	9,845 人	9.47	24.87 km ²	28.35
原区	362 世帯	938 人	0.90	1.27 km ²	1.45
大石区	87 世帯	198 人	0.19	1.74 km ²	1.98
本道寺区	55 世帯	127 人	0.12	3.05 km ²	3.48
香園区	10 世帯	32 人	0.03	3.71 km ²	4.23
柚須原区	19 世帯	42 人	0.04	4.26 km ²	4.86
太宰府市	31,824 世帯	71,837 人	100.00	29.60 km ²	100.00
内山区	139 世帯	290 人	0.40	2.58 km ²	8.72
北谷区	167 世帯	375 人	0.52	4.10 km ²	13.85

R1/8/31 現在 人口



図 2-13 行政区・コミュニティ

※コミュニティ区域…筑紫野市は地域コミュニティによる協働のまちづくりを推進しており、市内7つの地域においてコミュニティ運営協議会を設けている。協議会は「公共団体」としての性格を有し、地域における様々な課題の解決にあたる組織として位置づけられている。

(4) 交通

1) 鉄道

筑紫野市には九州旅客鉄道(以下 JR)鹿児島本線、JR 筑豊本線、西日本鉄道(以下西鉄)天神大牟田線の3路線がある。JR 鹿児島本線は二日市駅、天拝山駅、原田駅、JR 筑豊本線は筑前山家駅、西鉄天神大牟田線は二日市駅、紫駅、朝倉街道駅、桜台駅、筑紫駅の9駅がある。

太宰府市には JR 鹿児島本線、西鉄天神大牟田線、西鉄太宰府線の3路線があり、JR 鹿児島本線は都府楼南駅、西鉄天神大牟田線は都府楼前駅、西鉄太宰府線は五条駅、太宰府駅の4駅がある。

各駅の一日平均乗降客数をみると、JR 二日市駅は7,550人、西鉄二日市駅は21,562人、西鉄太宰府駅は12,049人となっている。



図 2-14 鉄道路線図

2) 公共バス

筑紫野市では西鉄路線バスのほかに、市費による赤字補填、委託事業を行っている路線バスがあり、山口地区を走る「ちくしのバス」、二日市地区の一部や山家地区を走る「上西山線」、筑紫地区を走る「筑紫野線」が運行している。また、福祉の一環として、筑紫野市総合保健福祉センター「カミーリヤ」と市の公共施設を利用する方の交通手段を確保することを目的に「カミーリヤ巡回福祉バス」が市内5路線で運行している。また、カミーリヤを起点とし、西鉄筑紫駅西口、筑紫野市役所、JR二日市駅、二日市温泉を走る「筑紫野市コミュニティバス つくし号」、同じくカミーリヤを起点とし、原地区、柚須原地区へ向けて2路線を運行する「御笠自治会バス」がある。

太宰府市では西鉄路線バス、太宰府市コミュニティバス「まほろば号」、博多や福岡空港と太宰府間を運行する「太宰府ライナーバス旅人」がある。



図 2-15 公共バス路線図

3) 道路

筑紫野市側では九州自動車道、国道3号、国道200号、主要地方道筑紫野インター線、一般県道福岡日田線などの幹線道路が整備されており、九州自動車道には筑紫野インターチェンジが設置されている。

太宰府市側では九州自動車道、国道3号、福岡都市高速道路及び県道筑紫野・古賀線をはじめとする県道10路線があり、九州自動車道には太宰府インターチェンジ、福岡都市高速道路水城インターチェンジが設置されている。

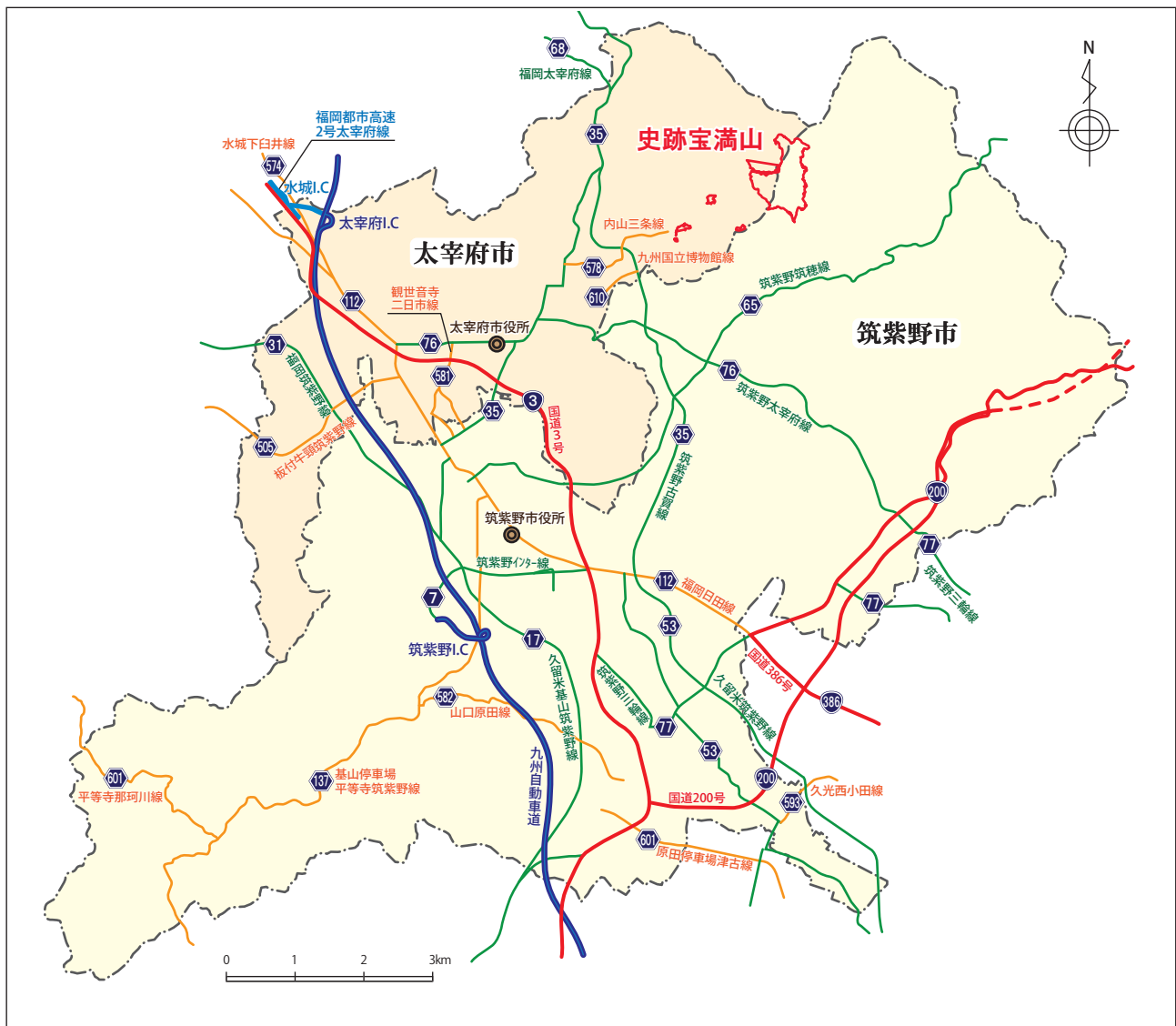


図 2-16 道路路線図

(5) 利用実態

宝満山の利用として、主に宝満山への登山、竈門神社への参拝、桜、紅葉シーズンの観光などが挙げられる。また、登山客の増加に伴い、山中での遭難も発生している。以下にその概要を示す。

1) 宝満山への登山客

宝満山への登山客数は年間7万人とも10万人とも言われ、県内でも1、2の登山客数の多い山である。正面登山道はよく整備されていること、山内には数カ所、水場があり、水を調達しやすいこと、頂上にはキャンプセンター、バイオトイレが設置されていることなどから、比較的登りやすい山であり、常に老若男女の姿が見られる。

登山ルートは主なもので13ルートがある。様々なルートごとに違った山の雰囲気、景色を楽しむことも人気の理由の一つである。また、宝満山は、民間の出版社による「九州百名山」に選定され、県内でのトレッキングの名所である「三郡縦走ルート」の南側の起点としても位置付けられている。これを目的に訪れた人がネットを使って画像配信するなどし、近年は遠方からの登山者が増加している。積雪や凍結した状況を好んで入山する登山者も見受けられ、元旦のご来光登山、中秋の月見登山等、夜を通して山が賑わうことも多い。

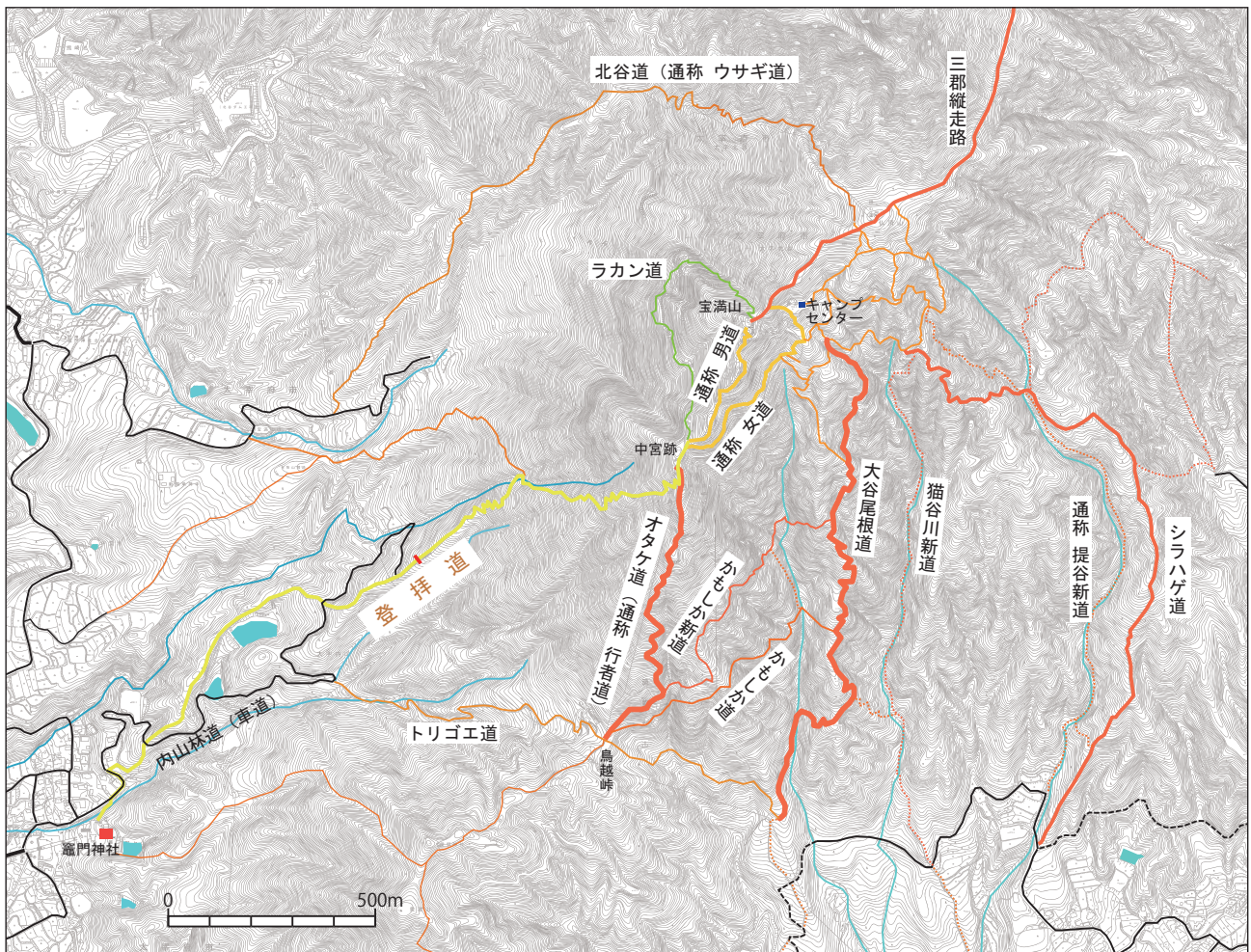


図 2-17 登山ルート図